

I 神と人、人と人との真実な交わりの条件は＝偽りを捨てて真実を語る事です。これがなければ、信頼し合う関係、信頼関係、真実な交わりは生まれません。また、保てません。

II 人間を神に背かせた悪魔の方法は＝偽りを語る事です。「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです」創世記3：4, 5。神に背いた人間が最初に犯した罪は＝悪魔の偽りに負け、神に背き、真実（自分自身の過ちを認める、自分の責任を認める）を語らず、偽り（責任転嫁）を語る事になったのです。人は言った。「あなたが（神への責任転嫁）私のそばに置かれたこの女が、あの木から取って私にくれたので、私は食べたのです」創世記3：12。いっしょにいた（3：6）夫アダムは、妻エバのかしら（リーダー、正しく導く者、相談をし、最終的には自分が決断し責任を取る者）として、妻に神からの聖なる責任をもって注意をし、悪魔の誘惑を退け、食べるのを止めさせるべきでした。アダムは、神が与えられた夫としての聖なる権威を正しく（自分と妻を罪から守る為）用いず、秩序を保てず墮落してしまっただけです。ある意味で、原罪は、結婚関係における自分の位置、立場、責任を守るのを怠った事、神に御心を祈り求め、相談し合う事を怠った事、無秩序から生まれたのです。

III そんな私達を神は救われ、古い人を脱がせ、新しい人（神のかたち＝御性質、キリストご自身）を着させ、新しくし続けて下さるといふ文脈の中で（「ですから」：25）、具体的な命令として命じられている事は＝4：25です！。これは、最初のIで確認したように、神と人、人と人との最も真実な交わり、心の通じ合うコミュニケーション、伝達に欠かせない条件、土台です。

1. 「偽りを捨て」。偽り＝嘘、虚偽。「悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときには、自分にふさわしい話し方をしてしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです」ヨハネ8：44。創世記3：1-5の通りです。悪魔は、人殺しであり、偽り者です。それと全く逆、対称的に、私達の主イエスは、人を救う方、真実、真理そのもののお方です。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです」ヨハネ14：6。逆に悪魔は、偽り者、滅ぼす者です。ですから主を信じ、悪魔の支配から解放され、主の御支配に移された（コロサイ1：13）私達は、偽りを捨て、真実、真理を語る者（主の御姿、ご性質、神のかたち）に変えられ続けるのです。人を殺す、人を憎む、偽りを言う時、私達は、悪魔に似ており、私達が、人を愛し赦し、真実、真理を語る時、主イエスに似ているのです。

「怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは古い人をその行いといっしょに脱ぎ捨てて、新しい人を着たのです。新しい人（キリストを着て新しくされ続ける私達）は、造り主の

かたち（御性質）に似せられてますます新しくされ、真の知識（神を真に知る、神により真の知識をいただく）に至るのです」コロサイ3：8－10。

「捨ててしまいなさい」は、4：22の古い人を「脱ぎ捨てる」と同じ言葉です。きっぱりと神の喜ばれない罪、悪を捨てなさい。「あなたの隣人に対して、偽りの証言をしてはならない」（出エジプト記20：16）。私達が、偽りの証言、偽りのうわさ話し、確認もせず流す情報、偽りを語り人の名誉を傷つける事に気を付け、それらを避けることができますように。

「舌を制することは、だれにもできません。それは少しもじっとしていない悪であり、死の毒に満ちています」（ヤコブ3：8）。ですから、制御する聖なる力を与えて下さる神に「私達の心、舌、口を聖め守って下さい」と日々祈りましょう。

2. 「おのおの隣人に対して真実を語りなさい（語り続けなさい）」。「真実」（エペソ5：9）と「真理」（1：13、4：21、24、6：14、ヨハネ14：6）は同じ原語。

① . 真実を語り続ける為には、真実、真理であられる主をお迎えする事です。そして毎朝、自分の心の王座に真実、真理である主をお迎えする事です。

② . 真実を語る為には、語る前に、真実を聞く事が大切です。「だれでも、聞くには早く、語るにはおそいようにしなさい」ヤコブ1：19。

③. 真実を語る為には、出来事、聞いた事を正しく理解する、判断する知恵が必要です。祈りましょう。見たまま、聞いたままを語る事が真実とは限りません。私達の視点、目、耳、人間の情報は、完全ではないからです。

「あなたがたの中に知恵（正しく判断する力）の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます」ヤコブ1：5。

「私にとっては、あなたがたの判定、あるいは、およそ人間による判決を受けることは、非常に小さなことです。事実、私は自分で自分をさばくことさせしません。…私をさばく方は主です。ですから、あなたがたは、主が来られるまでは、何についても、先走ったさばきをしてはいけません。主は、やみの中に隠れた事も明るみに出し、心の中のはかりごともしっかりと明らかにされます。そのとき、神からの称賛が届くのです」I コリント4：3－5。

祈り：偽りを捨て、真実を語るができますように。